



日本共産党掛川市議会議員

勝川志保子・掛川市塩町 3-7

☎22-1325・FAX22-3883・Eメール sihoko@mbr.nifty.com

しほこ通信

NO.366

2025年7月下旬

勝川しほこ 検索

歩きたくなる街中とは

8月末から開催される8月定例会に向け市内を回りながら、一般質問の準備をしています。

暑さが厳しく例年以上に草が生い茂る夏です。駅やお城の周辺は草丈が伸び、ムクドリの集まる街路樹下のベンチには糞が積もり、悪臭を放っています。御殿横の水辺も水面が見えないくらいに草が茂り、池は藻でドロドロ。逆川土手の遊歩道は草でちよっと通れないくらいで、選定していないアジサイがやけに背を伸ばして覆いかぶさっている…

市は今、「まちなかウォークアブルストリートデザイン」策定と言いますが、心地よさを感じられないところを人は回遊などしないとします。

6月に三島の街を駅から結構な距離を歩いたのですが、人の手が入っていて道がきれいな花であふれて心地よかったです。「緑と水の街づくり課」があり、それなりの予算付けがされているそうです。

掛川駅周辺は、JRの敷地、市の維持管理課の所轄、中心市街地活性化特別会計・まちづくり株式会社・お城周辺維持管理区域が複雑に入り組み、どこの管理なのかよくわからないです。管轄の違う所に手が出せません。

昔からの商店の方は掃除をするけれど、夜のお店や塾、閉店したお店の前などは、落ち葉も草もそのままになります。

市制20周年というなら、心地よく駅の周辺を一体的に管理する仕組みが必要だと思っています。



掛川駅まわりの雑草



ムクドリの糞だらけのベンチ



通るのに躊躇する遊歩道

参議院選挙で自公政治NOの審判が

共産党は改選議席を減らし、残念な結果に終わりました。今後もぶれない野党として引き続き頑張ります。

民主主義社会における政治とは、みんなを取りこぼすことなく幸せにすること。政治を検証して変えるのが選挙です。

選挙序盤は「金権政治・自民党政治NO」「消費税の減税」「大軍拡をやめて」「大企業やお金持ち優遇NO」「命と暮らしを守って」「普通にお米が食べられる農業政策を」当たり前前に政策を語ることができました。

ところが、選挙戦が進む中、外国人やマイノリティの排斥を強い調子であり、憎悪と分断を拡大させる論調が広がり、政策の本身は後ろに追いやられていきました。

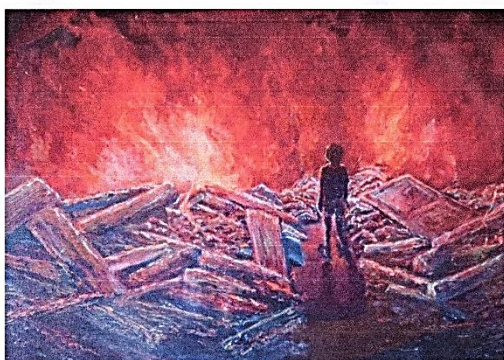
政治経済の基本的常識や歴史認識の裏打ちがないと嘘が平気で拡散していくとも思い知りました。まともに、そして民主的に、政治論争をしていきたいです。



カラスウリの花

平和について考えよう

高校生が描いた原爆絵画展



被爆の伝承者と広島の高校生の共同制作で描かれた原爆の絵と戦争と平和について考えるパネルを展示します

日時: 8月4日(月) ~ 8月15日(金)

8:30 ~ 17:15

《 8/9(土)・10(日)は市役所閉庁のためお休み 》

場所: 掛川市役所 本庁舎 2階生涯学習テラス

主催: 被爆80周年平和のつどい実行委員会(松井 090-1985-4471)

共催: 掛川市(企画政策課 21-1127)